

伊丹市文化財ボランティアの会

# 火曜会通信

第75号

発行日 : 平成29年 11月 1日

発行 : 伊丹市文化財ボランティアの会

発行所 : 伊丹市千僧1丁目1番地

伊丹市教育委員会事務局内

市内文化財巡り 歴史ウォーキング

清酒発祥の地など

## 市北西部を歩く

伊丹市には、国が指定している有形文化財が二つあります。ひとつは旧岡田家住宅(建築物)、もうひとつは慈眼寺にある彫刻、木造釈迦如来坐像です。旧岡田家住宅は公開されていますが、慈眼寺の仏像は書籍などで見る事が出来るものの、なかなか目の前で見ることがありませんでした。ベテランの会員でもまだ見たことがない方がいたようです。

今回、その木造釈迦如来坐像を拝見する機会をいただきました。



慈眼寺本堂

像高 52.4cm との説明でしたが、仏壇の高い位置に鎮座しているせいか、比較的小さく感じました。黒漆の上に塗ってあった金箔はほとんど

剥落し、黒く光っていました。昭和 63 年修理の際、像内からたくさんの墨書銘が出て。その銘文から鎌倉時代初期(1195)の造立だと判明したそうです。作風から慶派の流れを組む仏師の作であることは間違いないとのことでした。

今回の文化財巡りでは、伊丹市繁栄の基盤を作った人たちの業績を振り返ることが出来ました。ひとりは僧行基です。集合場所になった昆陽池は行基によって築かれた灌漑用溜め池です。昆陽施院(後の昆陽寺)の建立とともに、灌漑用水の確保はその後、伊丹の人びとの暮らしを支えるのに大変重要な仕事でした。

もうひとりは戦国武将の山中鹿之介の長男、山中幸元です。幸元は摂津国鴻池村で武士の身分を捨て醸造家に転身します。そこで、清酒を効率的に大量生産する技術を開発して、高品質の酒を生み出します。伊丹の酒は江戸で人気を博し、伊丹は日本一の酒造産地として発展します。今回



鴻池稻荷詩碑

伊丹市文化財ボランティアの会では、旧岡田家・石橋家や郷町内・旧西国街道など、市内外から訪問される人たちに文化財のガイドを行っています。

市内の史跡・文化財のガイドについてのお問い合わせは、伊丹市社会教育課までお願いします。  
(☎ : 072-784-8090)

訪ねた鴻池神社本殿の棟札や鴻池稲荷祠碑に刻まれた碑文に、山中家の歴史が読み取れます。

そしてもうひとり、浅野孫左衛門は伊丹中野地区の発展にとって重要な役割を果たしました。今回訪ねた中野稲荷神社や素盞鳴神社に、その功績を伺い知ることができます。

最後に、伊丹市の北端にある天台宗の古刹容住寺と荒牧の氏神である天日神社を訪問し、今回の歴史ウォーキングが終了しました。

長めの距離でしたが、時折秋風が通り過ぎる、絶好のウォーキング日和でした。参加者は43名(内会員他17名)。ガイドの説明を聞きながら、熱心にメモを取られていた参加者が印象的でした。

(金川 記)

※次回の市民ガイドは11月3日(金・祝)に予定されています。



## ＜研究発表＞

# 蘇我氏を読み直す

末次弘幸

(趣旨)

『日本書紀』によれば、蘇我氏は王位篡奪を企図した極悪人とのことだが、最近の研究では蘇我氏は渡来人の先進技術を利用して、開発・改革を進めた一族であると言われている。敗者からの視点で蘇我氏を読み直してみたい。

## 1. 蘇我氏の本拠地

有力説:大和国高市郡曾我(現:奈良県橿原市曾我町)。ソガはもともとスゲ、スガ(菅)であり、この地を流れる曾我川のほとりに群生する多年草が名前の由来となった。

諸 説:葛城説、河内石川説、渡来人説など。

## 2. 蘇我氏の系譜

『古事記』によれば、第8代孝元天皇の曾孫・武内(建内)宿禰の子・蘇我石河宿禰を始祖と

して、満智→韓子→高麗と続き、高麗の子が稲目である。

※稲目以前については架空の人物とする説が有力。

## 3. 蘇我氏4代(稲目・馬子・蝦夷・入鹿):蘇我本宗家

536年に蘇我稲目が宣化天皇下で「大臣」に就任して以来4代(約110年)にわたり、大臣を輩出する一族として、ヤマト王権で権勢を振るった。645年に入鹿が飛鳥板蓋宮で暗殺され、また父・蝦夷も甘檜丘で討たれ、蘇我本宗家は滅亡した。

※大臣(おおまえつきみ、おおおみ):大夫の上位にあり、大夫を代表し、統括する職位。天皇の政治・外交を輔佐する筆頭の重職。

※大夫(まへつきみ):高貴な人の御前に侍るお方。臣、卿、群臣などの表記もある。

## 4. 蘇我本宗家発展の背景

①ヤマト王権は各地に屯倉を設置し、屯倉を増やすことで支配域を拡げていったが、稲目は支配下に置く渡来系氏族の財務能力などを利用して、屯倉経営に手腕を発揮し、政権内での存在感を高めていく。

※屯倉(みやけ):大王や王族に差し出す物資や労力を地域ごとに集積・確保するために設置されたヤマト王権の直轄施設で、耕作地だけではなく、政治的・軍事的・港など物流の拠点もあった。

②外戚:稲目は二人の娘を欽明天皇に嫁がせ、18人の皇子・皇女が生まれる。

堅塩媛(きたしひめ):7男6女。→用明天皇、推古天皇

小姉君(おあねのきみ):4男1女→崇峻天皇、穴穂部間人皇女(厩戸皇子の母)

③馬子と蘇我系天皇(推古)との協調体制

## 5. 『日本書紀』が記す蘇我氏の横暴→滅亡への道

①642年、蝦夷が葛城の高宮に祖廟を建てて、その前で八佾の舞を披露した。(やついのまい:

8×8=64 名による方形の群舞で、天子のみが行うことができる)

- ②642 年、多くの人民を動員して、今来に双墓(ならびのはか)を造る。蝦夷の墓を大陵(おおみささぎ)、入鹿の墓を小陵(こみささぎ)という。  
※陵と呼べるには天皇とその一族の墓だけであり、蘇我氏が呼称するのは越権行為
- ③643 年 11 月、上宮王家(じょうぐうおうけ:山背大兄王一族)を斑鳩で滅亡に追い込む。
- ④644 年、蝦夷、入鹿、甘檜丘に邸宅を建てる。蝦夷の家を「上の宮門(うえのみかど)」、入鹿の家を「谷の宮門(はざまのみかど)」という。

6.『日本書紀』が記す入鹿暗殺シーン(乙巳の変)  
日 時:645 年 6 月 12 日  
場 所:飛鳥板蓋宮、朝鮮三国(高句麗・新羅・百濟)の使者が貢納品を献上する儀式  
実行者:中大兄皇子、中臣鎌足、蘇我倉山田石川麻呂など  
被害者:蘇我入鹿  
理 由:「入鹿は王族を滅ぼして、王位を奪おうとした。どうして見過ごすことができようか」(中大兄皇子)

7.『日本書紀』編纂者とその意図  
編纂指示:天武天皇(681年)  
編纂総裁:舎人親王(天武の皇子)  
編纂時の権力者:藤原不比等(蘇我入鹿を滅ぼした中臣鎌足の子)  
成立:720年(元正天皇の時代)  
編纂者の意図:701 年に大宝律令が完成するが、それ以前に律令制を志向したとされるのが中大兄皇子でその側近が中臣鎌足である。  
→正義  
蘇我氏:天皇を冠に戴く律令制を潰そうとする反動勢力→極悪人・逆賊  
正義が逆賊を成敗する勧善懲悪の構図。  
親蘇我派の衰退と藤原氏の台頭という時期にあたり、新たな権力者・藤原氏が新政権の正

統性を立証するためにも、蘇我氏を貶める必要があったのではなかろうか。

## 8. 蘇我氏再評価

- ①蘇我氏が渡来系氏族の土木技術を活用して開発を進めていた飛鳥の地に、天皇を招き、新たな時代を開く。
- ②初期の飛鳥時代とその文化を開花させた。
- ③仏教受容を推進するなど進取の気性のある一族
- ④渡来系氏族を配下にして、財務・外交における先進性を発揮し、ヤマト王権の発展に寄与した。

9. 乙巳の変で稲目を始祖とする蘇我本宗家は滅亡したが、蘇我本家が蘇我倉家に移っただけで、蘇我氏は滅亡していない。

## 《蘇我氏略年表》

### 1.) 飛鳥時代前夜

- 536 年 蘇我稲目、大臣就任。
- 538 年 百濟から仏教伝来。(『日本書紀』は 552 年)
- 551 年 蘇我馬子誕生。
- 555 年 稲目、吉備国へ派遣され、白猪屯倉を設置。
- 570 年 稲目、死去。
- 572 年 敏達即位。馬子、大臣就任。
- 574 年 厩戸皇子(聖徳太子)誕生。
- 585 年 敏達崩御、用明即位。
- 587 年 丁未の役。(蘇我・物部戦争)用明崩御、崇峻即位。
- 588 年 飛鳥寺の建立始まる。

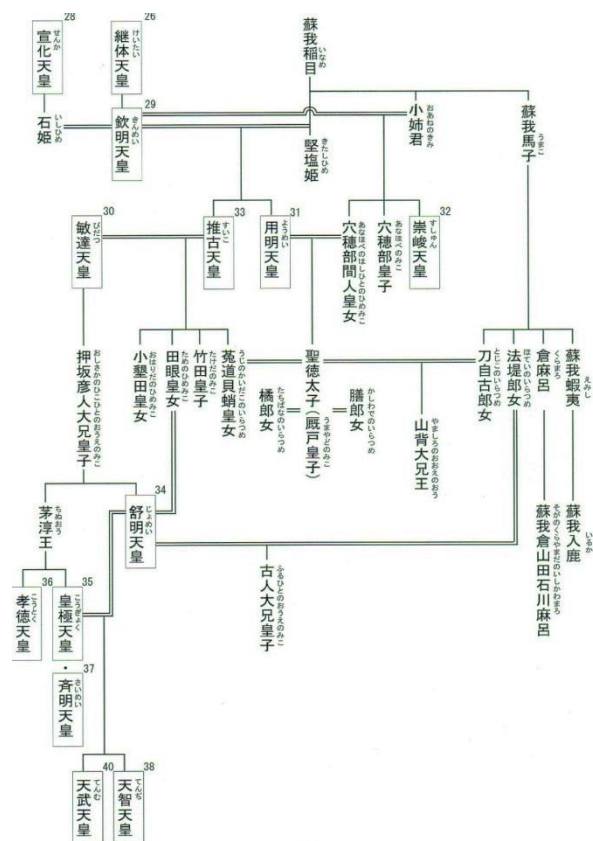
### 2.) 飛鳥時代

- 592 年 蘇我馬子、崇峻天皇を殺害。推古天皇即位。(飛鳥豊浦宮にて)
- 596 年 飛鳥寺完成。
- 603 年 冠位 12 階を制定。
- 604 年 17 条憲法制定。
- 607 年 小野妹子を隋へ派遣。

- 622 年 厩戸皇子、死去。
- 626 年 馬子、死去。桃原墓に葬る。  
蘇我蝦夷、大臣就任。
- 628 年 推古崩御。舒明即位。
- 630 年 第1回遣唐使。
- 641 年 舒明崩御。
- 642 年 皇極即位。蝦夷、葛城の高宮に祖廟を造営。蝦夷・入鹿の墳墓造営。
- 643 年 蝦夷、蘇我入鹿に大臣を禅譲。入鹿、山背大兄一族を滅ぼす。
- 644 年 蝦夷、入鹿、甘檜丘に邸宅を築く。
- 645 年 乙巳の変（入鹿、飛鳥板蓋宮で暗殺される。翌日、蝦夷も討たれる）  
皇極生前譲位。孝徳即位。
- 649 年 中大兄皇子、蘇我石川麻呂を滅ぼす
- 663 年 白村江の戦い。
- 667 年 近江遷都。
- 668 年 中大兄皇子、即位。（天智天皇）
- 672 年 壬申の乱、大海人皇子勝利。
- 673 年 飛鳥浄御原宮にて即位。（天武）
- 694 年 藤原京へ遷都。
- 701 年 大宝律令完成。

### 3.) 奈良時代

- 710 年 平城京へ遷都。  
(元明天皇)
- 718 年 養老律令完成。  
(元正天皇)
- 719 年 古事記編纂。
- 720 年 日本書紀編纂。



蘇我氏系図

### <研究発表>

## ジョン万次郎の生き方に学ぶ

酒井 正憲

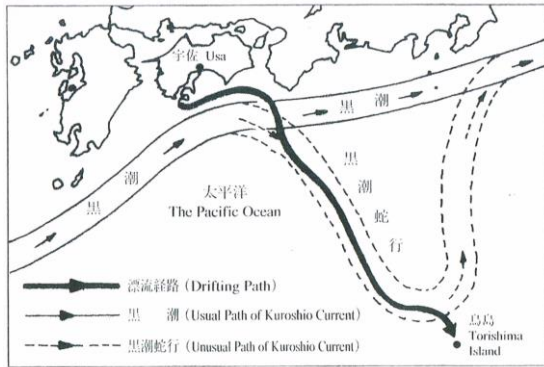
テーマ選定の理由は家内の故郷が万次郎と同じ土佐清水市で、且つ義父が捕鯨船の機関長をしていたことに因み、調査研究を試みた。

### 1. 漂流

万次郎は高知県土佐清水市中の浜の貧しい漁師の7人家族の次男として生まれる。家計を助ける為に、14歳の時に漁師見習いとして出稼ぎに出る。(裕福な家庭に生まれていたら、ハングリー・スピリッツは生れなかったかも?)

冬のある日近海で漁をしている時に、突然の嵐に遭遇して流されてしまうが、幸運にも黒潮の大蛇行に乗り6日間の漂流の後、奇跡的に生命だけは助かっている。流れ着いた鳥島ではアホウドリを生食して、143日間のサバイバル生活を送っている。(生命力の強さに感服した)





### 黒潮の大蛇行

アメリカの捕鯨船ジョン・ハウランド号に救助され、ホイットフィールド船長との出会いが万次郎の人生を左右する恩人となる。(一期一会)

### 2. 外国

5 人の日本人を救出したジョン・ハウランド号はホノルルに寄港して日本方面の便船を待つが、万次郎ただ一人、船長に働きぶりを見込まれアメリカに誘われる。(人生の岐路となる) フェアヘーブンの船長の家で暮らした万次郎は初めてオックスフォードスクール (小学校) に通い、人種差別やいじめにも負けず勉学に励んで、日曜日にはキリスト教の博愛精神を学んでいる。更にフェアヘーブンの最高学府のハーバードアカデミーで、航海術、高等数学、測量術、捕鯨について学び、首席で卒業している。向学心旺盛で勝気な性格の少年だった。

万次郎 20 歳で日本方面の捕鯨に向かう。フランクリン号に乗船したが、デービス船長が病気になり、船長の補欠選挙があり、万次郎が副船長になっている。(若いにも拘わらず船内で人望が高いことを物語っている)

日本へ帰国する資金作りの為、ゴールドラッシュに沸く西海岸のサクラメントから金山に入り、70 日間重労働を行い、600 ドルを得ている。当時の水夫の月給が 17 ドルだったから、短期間で莫大な資金を得た (自己資金調達能力に優れていたことが窺える)。

ホノルルで日本人最初の移民となる寅右衛門を残し、伝蔵と五右衛門の 3 人で帰国することにした。準備としてアドベンチャー号と名付けたボートを購入して、本船サラボライト号に乗

船した。船長のホイットモア船長と交渉して、船上無給で働く条件で乗船することが出来た。(交渉能力の高さが窺える)

### 3. 帰国

鎖国中の日本へ帰国することは「死刑を覚悟の上のこと」であった。母に会いたい！アメリカ文化を伝えたい！何よりも自分は日本人である誇りが強かった、という理由である。(大きなリスクを負っても帰国したかった)

日本での取り調べは、琉球で 8 ヶ月、薩摩で 2 ヶ月、外国奉行のいる長崎では 9 ヶ月、土佐では 2 ヶ月の約 1 年 10 ヶ月に及んだ。その後に家族の待つ中の浜に帰れた。(万次郎 25 歳)

### 4. 開国

中の浜で母と過ごしたのは 3 日 3 晩で藩主山内容堂に呼び出され、高知の「教授館」で英語を教えている。この時刀を賜り、武士となった。

万次郎が帰国した 2 年後にペリーが艦隊でやってきた。その目的はアメリカ捕鯨船への食糧、水、薪などの補給と難破船の乗組員の救護を要求するもの、つまり開港を求めたもので、大統領の親書を持参して浦賀奉行に受け取らせた。

当時、英語とアメリカ事情を知っている万次郎は高知から江戸に呼び出され、幕府の幹部から外国事情を尋ねられ、明快に回答したので大変重宝された。この時初めて「中濱万次郎」を名乗っている。また、老中阿部伊勢守が万次郎を普請役として幕府の直参にすると言い渡した。日米交渉と万次郎の立場は微妙であった。つまり、万次郎がアメリカに有利な交渉をしないか？など幕府は疑心暗鬼であった。実際、万次郎はペリーにも会っていないし、通訳もしていない。



ペリー提督

交渉時に襖の裏にいて通訳したり、助言したりしていたという説もあるが、事実はどうだったのか？

## 5. 国内活動（前編）

万次郎は日米和親条約が締結される3週間前に、剣術指南役の団野源之進の次女「鉄」と結婚し、一男二女（寿々、東一郎、鏡）をもうけるが、9年後に「はしか」で病死する（鉄25歳）。その後医師樋口立卓の妹「琴」と再婚し、二男（西次郎、慶三郎）をもうけるが離婚した。晩年「志げ」と3度目の結婚をし



最初の妻「鉄」

て、二男（信好、秀俊）をもうけた。（この時代で3度も結婚離婚を繰り返すのは珍しいことでアメリカ的なものを感じた。）

中の浜の西村区長によれば、2人目の妻琴さんは熊本に住んでいて「熊本ジョン万次郎の会」を立ち上げたとのこと（離婚原因は不明）。

万次郎は日本で初めて、和船と異なる竜骨を使ったボートを製造したり、軍艦操練所の教授となり、英語、航海術の個人教授をして、「中濱塾」と呼ばれ、生徒には大山巖、福沢諭吉、岩崎弥太郎などがいた。

他には「ボーディッチの航海書」の翻訳を行い、日本初の翻訳本を作った。その翻訳本名は「亜美理加合衆国航海学書」と名付けられた。また、木版刷りポケット版の「英米対話捷徑」を作成している。

## 6. 咸臨丸

日米通商条約の調印後、ポーハタン号の随伴船として日本から咸臨丸が行くことに決まった。丁度その時アメリカの測量船クーパー号が難破して、ブルック艦長と21名の乗組員がアメリカ行きの便船を待っていた。咸臨丸の責任者である木村摂津守は長崎の海軍伝習所で訓練した日本人だけでは不安を感じて、アメリカ乗組員を乗船させたいと幕府に交渉を重ね承諾を取り付けた。

万次郎の立場は微妙であった。というのは、万次郎を乗船させるとアメリカの有利に動くの

では？と疑われたが、木村摂津守は万次郎の能力を高く評価しており、幕府を説得した。

ポーハタン号より3日も早く出航した咸臨丸だったが、海が荒れて日本人乗組員は船酔いで役に立たず、ブルック大尉らアメリカ乗組員の助けを借りねばならなかった。このような中でも万次郎は一晩中眠らず鼻歌を歌って、ブルック大尉を驚かせた。予定より大幅に遅れていたため、勝海舟艦長は万次郎に全権を任せた。ここで名実ともに万次郎は咸臨丸の艦長になった訳である。

咸臨丸は万次郎艦長の手腕で予定通りにサンフランシスコに到着できた。（日本人の木村摂津守とアメリカ人ブルック大尉の間の潤滑油となった万次郎のリーダーシップは高く評価できると思った）

咸臨丸で持ち帰った物は、「タゲレオタイプ」の写真機と写真技術、そして当時アメリカの機械文明の最先端のミシンを購入している。これが既製服の流行を生み出すに至る訳である。

## 7. 国内活動（後編）

小笠原島を日本領土にし、小笠原捕鯨に日本国が乗り出すきっかけを万次郎がつくっている。万次郎念願の船を持ち捕鯨の装備をして「壹番丸」と名付け、自ら艦長となり、「真児鯨2頭」の収穫を得ている。この時も資金は越後の豪商平野廉蔵に委ね、幕府を背景に共同経営にして捕鯨を行っている。万次郎にはマネジメント力が備わっていたのだと感心した。

「ホーツン事件」は有名である。雇ったアメリカ人水夫のホーツンとスミスの2人が船の備品を盗むところを万次郎が現行犯逮捕した。万次郎が賢かったのは関係者から口述書を取り、島の外国人からも署名をとるなど客観的証拠を固めたことにある。後にアメリカ公使との交渉で大いに役立っているが、結局外交問題に発展している。万次郎の正義感の強さが偲ばれる。

（現代の国際社会でも良く似た事件があり、比較すると興味深い！）

万次郎は薩摩藩の要請で陸海軍総合大学の

「開成所」で教授として、また高知でも藩主の命で「開成館」の教授として、英語はじめ航海、測量、造船を教えて、外国船購入にも尽力している。万次郎は土佐藩の依頼を受けて、長崎から上海まで行き、船を購入してきた。その船で、竜馬が「船中八策」を作ったという、巡り合わせに驚いた。

万次郎 42 歳の時、徴士となり、開成学校（東京大学）の教授を任ぜられた。万次郎 43 歳の時、朝命により普仏戦争視察の為に欧州出張に出かける。ニューヨークで英国行き便船を待つ間に、フェアヘーブンのホイトフィールド船長に会いに行き旧交を温めた。

パリはドイツ軍に占領されており、戦況は明白であった。この時万次郎は足部に潰瘍を生じ、痛みもあるので、ロンドンで医師の診察を受けると、このまま視察を続行できないことが判り同行者に迷惑をかけることを恐れ、1 人で前年開通したスエズ運河を通り帰国することになった。

## 8. 老後

足部の潰瘍も数ヶ月で治癒したが、44 歳で突然脳溢血を発生し一時は言語障害や下肢の麻痺が出て病床に就いていた。これも数ヶ月で歩行出来るようになり、自宅や鎌倉の別荘で療養した。老後の住居は山内容堂から賜った深川砂村の 7 千坪の土佐藩下屋敷で、13 年間住み京橋弓町に移り住んでいる。仕事人間のように思われる万次郎も家庭ではパンを焼いたり、家族で料理屋に食事に行くなど家庭サービスもしている。また万次郎を演目にした歌舞伎が新富座で行われ、市川団十郎が演じたことはあまり知られていない。

## 9. おわりに

万次郎がホイトフィールド船長やデーモン牧師から学んだ博愛精神は上下身分の隔たりなく、自分のもつ知識や技術を尊王派、攘夷派の関係なく、未来の平等な社会をつくる為に貢献した。

しかし、明治新政府は万次郎の理想にかなうも

のだったであろうか？疑問を感じる。

## 追記 1

万次郎については、日本よりもアメリカで有名である。170 年前にホイトフィールド船長との出会いが日米友好の原点になっており、ホイトフィールド家と中濱家は 6 代に渡り友好を継承している。

ジョン万祭りはジョン万次郎とホイトフィールド船長の友情を記念し、フェアヘーブン

（米）と土佐清水市で毎年交互に開催されている。「第 6 回土佐清水ジョン万祭」は 2016 年 10 月 29 日（土）に開催し、10 月 30 日（日）には「ジョン万サミット」も合わせて開催する。

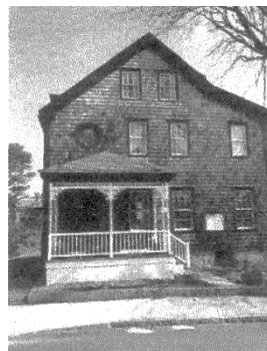


土佐清水ジョン万祭り

そして「咸臨丸子孫の会」ではブルック大尉の 3 代目、木村摂津守 4 代目、万次郎 4 代目が新たに建造された咸臨丸船上で会談している。

## 追記 2

本年 7 月 18 日に 105 歳で亡くなられた聖路加国際病院名誉院長の日野原重明氏が代表発起人となり、フェアヘーブンの船長の家を修復して「ホイトフィールド・万次郎友好記念館」を設立している。また 2012 年にはフェアヘーブンの街とニューヘッドフォードの町に桜の若木を友好記念として植樹している。現在では背丈を越え見事な花を咲かせているそうです。



友好記念館

（2017. 5. 13・20 の朝日新聞に記事掲載）

## 【ジョン万クイズ】

- ① 万次郎の生誕地は何県何市ですか？
- ② 万次郎達5人は何故助かったのですか？
- ③ 救助されたアメリカ捕鯨船の名前と船長名は何といいますか？
- ④ 「ジョン・マン」のニックネームの由来は？
- ⑤ 万次郎がアメリカで過ごした町の名前は？
- ⑥ 万次郎が首席で卒業した学校名は？
- ⑦ ハワイの恩人は誰？
- ⑧ 日本に帰る為に乗船した船とボートの名前は何か？
- ⑨ 万次郎が日本で初めて翻訳した本の名前は何か？
- ⑩ 土佐藩主山内容堂の指示で万次郎の外国事情を本にしているが、その本名は何か？
- ⑪ 万次郎は幕府で最高の役職に着いたが、その役職名は何というか？
- ⑫ 万次郎は三度結婚しているが、それぞれの妻の名前を答えて下さい
- ⑬ 万次郎が咸臨丸から持ち帰った物を、2つ答えて下さい
- ⑭ 万次郎が帰国後、捕鯨船の船長になっているがその船の名前は何か？
- ⑮ 外国人の強盗未遂事件を何というか？
- ⑯ 万次郎が江戸で開成学校の教授になっているが、現在の学校名は何？
- ⑰ 万次郎の墓は何処にあるのか？
- ⑱ 万次郎の教訓は何ですか？英語で答えてください

## —解答—

- ①高知県土佐清水市 ②黒潮の大蛇行 ③ジョン・ハウランド号、ウィリアム・ホイットフィード  
④ジョン・ハウランド号万次郎から ⑤フェアヘーブン ⑥ハーバードアカデミー ⑦サミエル・デーモン牧師 ⑧サラボライト号(本船)、アドベンチャー号 ⑨亜美理加合衆国航海学書 ⑩漂客談奇 ⑪直参 ⑫鉄、琴、志げ ⑬ミシン、写真機 ⑭壹番丸 ⑮ホーツン事件 ⑯東京大学 ⑰豊島区雑司が谷 ⑱ネバー ギブアップ

## <寄稿>

## 口酒井遺跡と

## 伊丹市埋蔵文化財センター

伊丹市教育委員会事務局生涯学習部

社会教育課 課長 中畔 明日香

神津地域にある口酒井遺跡（口酒井2）は猪名川からほど近く、現地表面は標高7mと、稲作農耕社会において集落を構えるのに最適な微高地です。口酒井遺跡の東南約500mには国指定史跡「田能（たのう）遺跡」（岩屋字鶴田・尼崎市田能6）があります。発掘調査は、昭和53年（1978）からはじまり、弥生土器や作りかけの石包丁などが発見されました。その後、凸帯文（とったいもん）土器・土偶（どぐう）や石器なども出土し、刃痕付きの縄文時代晩期の土器がみつき、この地域で弥生時代以前から稲作（米作り）がおこなわれていたことがわかりました。また、弥生時代の円形・方形周溝墓（しゅうこうぼ）や木棺墓（もっかんぼ）・壺棺墓、竪穴住居跡等が発見されています。凸帯文土器とは、縄文時代晩期（約2500年前）に九州～東海地方で使われた、土器の口や肩のあたりに粘土の帯を貼りつけた土器です。（縄文土器は深鉢と浅鉢がセット）



凸帯文土器 深鉢

その口酒井遺跡に、平成7年の阪神淡路大震災後の市内緊急発掘調査で出土した遺物の保管



や資料を整理するために建てられた「伊丹市口酒井埋蔵文化財整理事務所」の機能を、旧伊丹市立神津児童センター・図書館神津分室跡に移し、市内埋蔵文化財の資料研究・情報発信の拠点となる「伊丹市埋蔵文化財事務所（通称：伊丹市埋蔵文化財センター）」を今春開館しました。

**\*平日9:00—5:00 開所・土日祝日は閉所**

11月20日からはテーマを「いたみ史」と題し、市内遺跡における発掘調査で出土した、縄文～江戸時代の土器・陶磁器を中心にした展示を始めます。

また、当センターでは11月18日(土)から月1回、児童を対象にした「歴史ロマン体験学習」（事前予約制）も実施します。このほか、市民の皆様の市内埋蔵文化財への理解・関心が深まるようなイベントを行っていけるよう計画中です。今後、当課HPや広報伊丹にて周知をしていきたいと思っております。ご期待下さい！

## 思い出の世界遺産（14）

### ベトナム中部の巻②（前号より続く）

山内富美子

次の世界遺産はホイアンという町で海に面した沿岸都市です。2世紀から17世紀までのチャンパ王国の時代には、中国・インド・アラブを結ぶ中継貿易都市として栄えていました。その後、15世紀から19世紀にはアジアとヨーロッパの交易の中心地となり、16世紀・17世紀の頃には日本人町が作られ、1000人以上の日本人が住んでいました。今でも「来遠橋」と呼ばれている日本橋があり大勢の観光客が、行き交っています。その橋は、1593年に造られた屋根付きの橋でベトナムの2万ドン札に印刷されています。

ホイアンの古い町並みの中には、ベトナム式・中

国式に加えて日本建築様式の古い民家や小さな博物館が多く見られます。



ホイアンの来遠橋

また、夜のホイアンはランタンがとまり、町全体が、幻想的なムードに包まれ、エキゾチックな雰囲気を出します。ホイアンの中心街に入るには、入場料が必要です。

ホイアンの南西40kmの所に、世界遺産のミーソン遺跡があります。ここは、2世紀から17世紀まで栄えたチャンパ王国の聖地があった場所で、遺跡群は四方を山に囲まれています。



ミーソン遺跡

チャンパ王国は、北にそびえる聖なる山のふもとにインドにもあるシヴァ神などを祀るため、レンガの建造物をたくさん造りました。70棟以上ある遺跡は、今も深い森の中に草木に埋もれて残っています。壁面を飾っているチャンパの女神像やあちこちに置かれている石の彫像はチャンパ芸術の一品です。チャンパ族は、今はベトナムの少数民族になっています。

最後に、ダナンでは、五行山という五つの山からなる場所に行きました。108mの所にある展望台からは、真っ白な砂のビーチや美しい街の風景が楽しめました。五行山の山腹の洞窟に安置されている仏像も神秘的な雰囲気があり、6つの洞窟めぐりもなかなか味がありました。

## 「町の小さな文化財」第14回

### 鴻池・昆陽の力士塚



獅子渡藤次郎の墓

幕末の頃、伊丹周辺は相撲が盛んであった。当時の力士の墓が市内に残っている。

鴻池墓地公園の入口に伊丹の相撲興行番付表で頭取として名を連ねた獅子渡藤次郎の墓がある。慶応元年(1865

年)乙丑閏五月

建立と刻まれている。

獅子渡藤次郎は尼崎藩主の御前相撲で藩お抱えの力士を次から次へと投げ飛ばしたために

殿様が怒り、追われて逃げたという伝説がある。

松ヶ丘バス停の北向き地蔵の南側に昆陽の村墓がある。ここに明治14年(1881年)建立の荒勇由松の墓がある。荒勇については詳細は不明であるが江戸末期の力士と言われている。



荒勇の墓

同じく相撲興行番付表で頭取として名を連ねた関川為五郎の墓が市内船原の菩提寺境内にあると地域研究誌に載っていた。現地へ行って探してみたが墓は見当たらない。お寺の住職に尋ねると嘉永5年(1852年)に建立された古い墓石のため阪神淡路の震災で倒壊破損して、残念ながら今は墓石はないとのことであった。

＜松田 記＞

## 西宮市の

### 観光ボランティアと交流会

西宮市の観光ボランティア「ツーリズム西宮楽しく探見隊」(以下「楽しく探見隊」と略す)より、当会と交流の申込みがあり、9月26日に実施しました。

当日は晴天に恵まれ、楽しく探見隊から20名が参加、有岡城跡～旧岡田家～猪名野神社を駆け足でガイドした後ことば蔵で交流会を開催、当会から内田会長他13名が参加しました。



猪名野神社を案内

楽しく探見隊はリタイアした60歳代が中心で、お見受けしたところ当会員よりやや若いようでした。会員数は20数名、会の発足は平成17年です。毎月1回の全体会合を開催するのは当会と同じです。

当会の窓口は教育委員会社会教育課ですが、楽しく探見隊の窓口は西宮観光協会です。同協会は西宮および近郊の観光に関係する各種団体、法人並びに関係事業者、その他が加盟しています。

入会に際して適時開催されるガイド養成講座を受講します。講座はスライドを見ながら案内コースの概要を頭に入れる座学とテキストを持って実際に歩く現地学習があります。当会の養成講座は伊丹の歴史、文化財についてのややアカデミックな内容に比べるとガイドの方法を学ぶ実践的な内容になっています。文化財ボランティアと観光ボランティアの違いを反映しているようです。





## 活動記録（8月～10月）

**定例会** ・8/8（火）・9/12（火）・10/10（火）

**案内ガイド** ・8/20（日）Dコース（伊丹市友会 伊丹市）・8/30（水）Dコース（大阪高齢者大学 大阪府）・9/9（土）Aコース（伊丹市文化財愛護少年団 伊丹市）・9/20（水）Aコース（風志会 宝塚市）・9/22（金）Aコース（NPO 法人 ONCC 北摂）・9/23（土）岡田家（PL 塚口友の会 尼崎市）・9/25（月）Aコース（学文公民館推進員 西宮市）・9/26（火）Aコース（西宮観光ボランティアの会 西宮市）・9/27（水）Aコース（わが町同好会 川西市）・9/30（土）Dコース（市民ガイド）・10/6（金）Cコース（大阪北部シニアカレッジ 大阪府）・岡田家（大阪北部シニアカレッジ大阪府）・10/7（土）Aコース（日本公認会計士協会 兵庫会 兵庫県）・10/18（水）Aコース（大阪府高齢者大学校 大阪府）・10/21（土）Aコース（天六同友会 大阪市）・10/23（月）Aコース（大阪区民カレッジ北校 大阪市）・10/29（日）岡田家（兵庫県薬剤師国民健康保険組合 兵庫県）

### どんぐり座公演

- ・8/3（木）桜台小児童クラブ
- ・8/16（水）～8/18（金）ことば蔵



- ・8/25（金）瑞穂小児童クラブ

- ・10/30（月）天神川小

### 歴史ロマン体験学習支援

- ・8/19（土）楔形文字
- ・9/9（土）螺鈿
- ・10/14（土）かぼちゃのランプ



### 有岡城の清掃

- ・8/22（火）・9/26（火）・10/24（火）



## 今後の予定（11月～1月）

### 定例会

- ・11/14（火）・12/12（火）・1/17（水）新年会

**案内ガイド** ・11/3（金）Aコース（市民ガイド 文化財保護啓発事業）・11/7（火）Aコース（川西市シルバー人材センター東谷ブロック 川西市）・11/8（水）岡田家（NPO シニア自然大学校 大阪市）・11/18（土）岡田家（小松市商工会議所 小松市）・11/29（水）Aコース（笹原ブロック老人会 伊丹市）・岡田家（昆陽里幼稚園 伊丹市）

### 歴史ロマン体験学習支援

- ・11/18（土）古代の首飾り
- ・12/2（土）印鑑

### 有岡城の清掃

- ・11/25（土）一斉清掃・12/26（火）・1/23（火）

### 編集後記

季節外れの台風、衆院選挙での自民党の大勝利、トランプ大統領の訪日と続いた大イベントもやっと終わってやっと静けさが戻ってきました。

火曜会通信 75 号をお送りします。本号は原稿が多かったため12ページ編成となりました。今後とも出稿の程よろしくお願いします。

(M.Y.)